（紡織沼津支部、同吾嬬支部開講す）を利用し、又各支部共男子組合員との協同研究會を開き組織的なる教育方針の下に課程を進めた。又特殊講習會を永續的に開催するものに日本縫工組合の生花講習會、紡織沼津支部の編物講習會等あり、その他料理、語學の講習會も開かれてゐる。

近時高まりつゝある婦人の政治的進出は、勞働婦人の自覺の下に、社會民衆婦人同盟と協力して婦人同盟の結成は進められ、出版神田支部、關釀カスケード支部、紡織沼津支部、中央合同大塚支部、同瀧野川支部、同高田製綿工支部等は政治戰列について勞働組合法、母子扶助法の獲得闘爭に戰つてゐる。

以上の成績は、未だ充分ならざるも今後は主としてより積極的に教育方面に努力し、併せて共濟、娯樂方面にも新らしき設備をなさん事を希ふものである。

爭議部報告

本年度に於ける勞働爭議は、罷業卅八件、工場閉鎖二十五件であつた。これを前年度に比するに、罷業に於て六件を增し工場閉鎖に於て二件を增した。工場閉鎖は、主として不況による事業廢止に依るものである。

參加人員は、罷業三千七百三十六人、工場閉鎖一千五十九人、合計四千七百九十五人で、前年度に比して、一千二百四十八人の增加を示した。不況の深刻化を語るものである。

繼續日數は一件平均二十五日弱で昨年の三十二日に比し七日を減じた。

組合壓迫に基く罷業は、漸時減少した。然し乍ら、永田メリヤス機械製作所の如き、露骨極まる組合壓迫の外、二三件の組合壓迫を見受ける。又、積極的に組合壓迫には非らざるも、進んで組合を公認し、常に團體交渉が行はれて居れば、惹起せずに濟んだと思はるゝ罷業も依然相當數に上る。

罷業怠業に至らず、交渉に依りて解決したるものは、大小を合して二百十八件を數へる。これ、年々雇主の勞働組合に對する理解進み、從つて勞働組合側に於ても、常識的進退に出ることが出來た結果であつて、極めて注目すべきところであらう。

罷業を原因別に見ると、勞働條件の維持のためのもの十一件、改善のもの七件に過ぎず、以てその性質を知る事が出來る。結果に就いて見れば、有利二十四件、妥協七件不利四件、本表締切日には、未だ解決を見るに至らざるもの三件。成績は先づ惡くないと言つてよろしからう。

罷業の結果生じたる解雇にはあらざるも、罷業及工場閉鎖に關係する解雇者九百六十二人、其他を合して三千人に及ぶ。

罷業一覽表（自昭和五年九月一日至昭和六年八月三十一日）

所屬組合名	工場名	原因	發生年月日 解決年月日	罷業日數	參加人員數	延人員數	主なる要求	主なる解決條件	解雇者數	結果
東京機工組合	日本鉸釘株式會社	解雇反對	5. 9. 13 5. 9. 18	6	57	312	解雇反對	賃徹		有利
同	青木機工所	同	9. 13 9. 19	7	6	42	解雇反對	解雇手當480圓支給	3	有利
同	龍野ガソリン計量機	賃金値下	6. 1. 20 2. 7	18	50	900	三割賃下反對	一割賃下＝訂正歩合本給繰入レ＝テ三ケ月以内＝實行從業員家族見舞1000圓支給		有利
同	昭和製作所分工場	退職手當制定	3. 1 3. 14	14	62	868	工場閉鎖、解雇(8名)反對、退職手當制定	2名解雇＝訂正退職手當制定	2	有利
同	伊藤コンクリート	賃金不拂	3. 12 3. 26	15	15	225	賃金支拂	15名解雇、手當1300圓、賃金ハ解決翌日支拂フコト	15	不利
同	天野時計寶飾品株式會社	組合壓迫	3. 31 4. 30	31	11	341	解雇者復職、工場法實施、解雇手當制定	工場解散手當4.154圓5錢、爭議費用845圓5錢	11	有利
同	帝國發條株式會社	解雇反對	5. 3 6. 10	39	7	273	解雇反對	解雇手當750圓增額合計1780圓支給	7	不利